

# デジタルトランスフォーメーションと 3次元デジタルモデリングの新パラダイム

**内容** デジタルトランスフォーメーションとは「“IT の浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる”という概念」(Wikipediaより)です。すでに私たちの生活には、様々な IT 機器がなくてはならない存在となっています。Rhinceros (ライノセラス)を例に“ものづくり”におけるデジタル化と、3次元ツールの有効活用について講演します。(裏面に詳しい内容を載せています)

※Rhinceros (ライノセラス)とは

自動車・家電・航空船舶・建築・教育機関で、意匠・設計・製造の工程において広く使用されている3次元のデジタルモデリングツール。

(パソコンのソフトです。あいポートの利用者プログラムでも導入しています)

**日時** 2021年1月9日(土)14:00~

14:00~ 講演会

14:45~ あいポート事業説明

15:00~ ライノセラス体験会

・パソコンを使って体験します。

・ライノセラス初心者向けです。

**講師** 中島 淳雄 氏

~講師プロフィール~

3D デジタルモデリングエキスパート、株式会社アプリクラフト創設者・現取締役、株式会社グリフォンデザインシステムズ代表取締役、武蔵野美術大学基礎デザイン学科非常勤講師、日本デザイン学会会員・日本建築学会会員

**会場** 板橋区向原 3-7-9 ココロネ板橋 1階

**定員** 25名 (ライノセラス体験 12名)

**参加費** 無料

**申込み**

12月19日(土)より受付

お電話でお申込みください

ライノセラス体験希望の方はお申込時にお伝えください

板橋区発達障がい者支援センターあいポート

**03-5964-5422**

火~土 10:00~17:00(祝日及び12月29日~1月3日を除く)

## 内容

デジタルトランスフォーメーションとは「“IT の浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる”という概念」(Wikipedia より)です。すでに私たちの生活には、様々な IT 機器がなくてはならない存在となっています。

また経産省によれば、デジタル化による手続きの簡便化、利便性の向上を目標としています。

今回は“ものづくり”におけるデジタル化についてはフォーカスします。

日本では、“ものづくり”におけるデジタル化は、早くから可能性があったにもかかわらず、世界から大きく遅れることになりました。

一つの例が日本とドイツにおける自動車産業です。

日本とドイツでは、当初、“ものづくり”においては日本が有利に進めていたにもかかわらず、デジタル化を推進してきたドイツに生産性で水をあけられています。

その理由の一つは、3次元モデルの必要性は認識しながら、実際に、3次元ツールを有効に活用できるデザイナー、設計者、モデラーの少なさが挙げられます。

また大学での教育も欧米、中国に比べ遅れているのが現状です。

今回は、Rhinoceros (ライノセラス) という自由曲面形状を含む3次元の曲面モデラーを例に、デジタルによるものづくりの世界的な潮流とその有効利用について講演します。

## アクセス

HP に小竹向原駅からの詳細な案内と、バスでお越しの場合の案内を載せています。

合わせてご覧ください。

HP アドレス:

<https://i-port.cocorone.space/>

HP の QR コード

